児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日: 2024 年 2 月 15 日　　A:はい B:どちらでもない C :いいえ D:わからない　　事業所名:放課後等デイサービスつばさ

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	指定基準を満たしたスペースを確保している。	A:7 B0: C:0 D:0	学習支援のニーズが高まってきているので、事務所を活用して、集中して取り組めるスペースを確保している。
	2	職員の適切な配置	指定基準を満たした人員を、不足なく常時配置している。	A:7 B:0 C:0 D:0	今後も基準だけでなく、利用児童の状況を鑑みながら、臨機応変な人員配置をしていきたい。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	送迎、利用児童の名前、当日のイベント予定や調理、工作手順等、室内のホワイトボードを使い、視覚的に分かりやすくしている。	A:6 B:1 C:0 D:0	今後もより良い支援を模索していきたい。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	チェックポイントを定め、サービス提供後の清掃、消毒を徹底している。	A:6 B:1 C:0 D:0	BCP策定により、新型ウイルス感染予防についても、より一層の努力をしていく。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	定期的にミーティングを行い、現状や改善点を話し合う場を設けている。		
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施されていない。		今後、検討したい。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	虐待研修等、防災研修等を定期的に実施している。また、外部の研修にも参加している。		虐待研修ではオンデマンドを活用して、出来るだけ多くのスタッフが個々のスキルアップを図れるようにしていく。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	6か月に一度に保護者様と直接面談をしてモニタリングを行い、支援スタッフ間のカンファレンスを通じて、多角的な支援計画を作成しています。	A:7 B:0 C:0 D:0	5領域それぞれについて、各スタッフが見識を深め、よりよい支援計画を作成できるように努力していく。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	全職員が、相互コミュニケーションを重視して支援を行い、児童一人一人に合わせた支援計画を作成しています。		引き続き丁寧に作成していく。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	目標を達成できるように、1日ごとに一人一人の支援内容を記録しています。		より目標ごとのステップを細かくし、達成感のある計画を作成していく。
適切な支援の提供t(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援内容、方法については全スタッフ間で共有し、支援にあたっています。	A:7 B:0 C:0 D:0	引き続き、適切な支援を心がけていく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	定期的なミーティングを通じて、全員で活動内容、注意事項を検討しながら、土曜イベント等を決定しています。	A:7 B:0 C:0 D:0	イベント後に改善点などの記録を残し、次回以降のより充実したプログラムに繋げていきたい。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	ご利用者様の家庭事情、学校の行事など、ご希望に沿えるように柔軟に対応しています。		引き続き、ご利用者様に寄り添った支援を続けていきたい。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	社会性、生活力を養うために、調理、公共機関の利用、集団での外遊び、お出かけ等のプログラムを支援スタッフだけでなく、児童も主体的に決めていけるようにしています。		引き続き、充実したプログラムを提供する努力を続けていきたい。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	ホワイトボードを使って送迎、活動内容、活動方針、スタッフの担当児童等を共有し、連携を密に取っています。		活動の安全性をより高めていきたい。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	日報等を使って、気になることが有ればすぐに話し合えるように、出勤後すぐに前日の振り返りの時間をつくっています。また、特記内容については日報に記録をし、共有しています。		引き続き、努力していきたい。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	児童の様子や学校で聞いたことなどを1日ずつ記録に残し、スタッフが確認できるようにしています。		引き続き、努力していきたい。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	相談支援事業所とも連携しながら、基本的に6か月に一度行っています。		今後も継続していきたい。

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	ありません。		必要に応じて対応していきたい。
	2	**（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）** 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当者なしとなっています。		
	3	**（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）** 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当者なしとなっています。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	児童発達支援事業所及び保護者様からの要望があった時には、共有しています。		必要に応じて、積極的に共有していきたい。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	該当者なしとなっています。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要に応じて、実施しています。		今後も継続していきたい。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	他事業所とに合同活動や、地域の小学校児童と集団遊びを行っています。	A:7 B:0 C:0 D:0	他の活動方法も模索していきたい。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	実施していません。		保護者を交えた活動は検討している。
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時にご説明させていただいています。	A:7 B:0 C:0 D:0	引き続き、明確で丁寧な説明を心がけていきたい。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	必ず、スタッフと保護者とで確認し、承認をいただいています。	A:7 B:0 C:0 D:0	引き続き、継続していきたい。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント･トレーニング等の支援の実施	面談時等に、個別に対応させていただいています。	A:5 B:0 C:0 D:2	要望があれば、実施していきたい。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時でのやり取りや、連絡ノート、LINE等の連絡ツールを通じて常に情報の共有を図っています。	A:7 B0: C0: D:0	それぞれのご家庭に適した連絡手段で、スムーズなコミュニケーションを取れるように努力していく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	ご相談があった場合には、迅速かつ丁寧に聞き取りを行い、対応しています。	A:7 B:0 C:0 D:0	現状の打開になるか、実践的であるか、というところに主眼をおいた支援をしていきたい。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施していません。	A:4 B:0 C:2 D:1	社会情勢等を勘案しながら、行っていきたい。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	窓口や、対応体制については、契約時に説明及び重要事項説明書にて記載しております。また、苦情等があった場合には迅速に対応し、善後策を提案させていただいています。	A:7 B:0 C:0 D:0	引き続き、努力をしていきたい。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	特性に応じた連絡手段を用いて、正確かつ円滑なやり取りを行えるようにしています。	A:7 B:0 C:0 D:0	常に現状に即した手段を常に考えていきたい。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	プリントの配布、SNSを用いて情報発信を行っています。	A:7 B:0 C:0 D:0	今後もより良い方法を模索していきたい。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	鍵付きのロッカーに保管する等の対応を行っています。	A:7 B:0 C:0 D:0	研修等で個人情報保護の意識を高めていきたい。

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルを策定、掲示し、プリントの配布やブログでお知らせしています。	A:6 B:0 C:0 D:1	プリントを見られていない保護者様もいらっしゃいますので、直接の手渡しを徹底するなどの対策を講じていきたい。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的に行っています。	A:5 B:1 C:0 D:1	引き続き、努力をしていきたい。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	つばさ内での研修は実施しているが、外部の研修については一部のスタッフのみの参加となっています。		できるだけ多くのスタッフが参加できるようにオンデマンド等の活用を考えていきたい。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	該当なしとなっております。		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	スタッフ全員で情報を共有し、該当児童が口にするものについては、収納場所を分けるなどの対応を行っています。		今後もより良い方法を考えていきたい。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例を詳細に記録し、スタッフ間で話し合い、具体的な解決策を探っています。		今後も継続していきたい。
満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか		A:6 B:1 C:0 D:0	
	2	事業所の支援に満足しているか		A:7 B:0 C:0 D:0	